学校番号	２１１

令和５年度　地歴・公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新　政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	新版　最新政治・経済資料集　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の政治・経済は複雑で、グローバルな社会の中で一国だけでは解決できない問題も多々起きている。そのような社会を読み解き、今生きている社会をよりよいものにするための基本的な知識を得、考察し、実行する力を、「政治・経済」をまなぶことでつけてほしい。そのためには教科書・資料集をしっかり読みこなし、さらに幅広いメディアからの情報収集を行ってもらいたい。

2　学習の到達目標

主権者であるという意識を持って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
現代の政治・経済・国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解を図る。
現代の政治・経済の諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代政治・経済の基本のしくみを理解し、問題点についての関心を深め、その解決法を意欲的に考えようとする。主権者意識を持ち、積極的に政治参加しようとする。	現代の政治・経済が抱える問題を見出し、幅広い視野で考察し、公正な判断をし、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	様々なマスメディア・資料・書籍などから、必要な情報を収集し、効果的に活用して学ぶ力を身につけている。	政治・経済の基本的な事項・課題について理解し、その知識を身につけている。

評価方法	授業の様子 課題プリント	定期考査 課題プリント ノート	定期考査 課題プリント ノート	定期考査 ノート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第2編現代の経済	1章　経済社会の変容 2章　現代経済の仕組み 3章　現代の日本経済と福祉の向上 4章　現代の国際経済	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:基本的な経済の仕組みを理解させるとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などが考察できたか。 b:資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解し、その変容を概観できたか。 c:市場の働きや国民所得、景気変動などの経済の基本事項に対する理解を深められたか。 d:バブル経済と金融、財政の課題などを理解し、租税の意義も考えたか。	授業での発言 ノート 定期考査

2学期	第1篇現代の政治	1章　現代国家と民主政治 2章　日本国憲法と基本的人権 3章　日本の政治制度と政治参加 4章　現代の国際政治 5章　日本の平和主義と国際平和	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:政治の基本的事項や課題に対する関心を高め、民主主義の本質を探究する姿勢が身についたか。 人権保障・国民主権・法の支配などについて理解しているか。 ｂ:日本国憲法の三大原理、人権保障・統治機構の内容を理解し、今日における日本国憲法の意義を理解できたか。その上で改憲についての考察。 ｃ:日本の政党政治や選挙制度の特質を資料を参考にしながら把握し、望ましい政治や参政のあり方について考察できたか。 ｄ：国際社会や国際法、国連などの役割を理解できたか。	授業での発言 ノート 定期考査
3学期	第3篇現代社会の諸課題	課題学習（この中から、2つ選択） ・地域社会の変貌と住民生活 ・産業構造の変化と中小企業 ・農業と食糧問題 ・雇用と労働をめぐる問題 ・少子高齢化社会と社会保障 ・地球環境問題 ・人種・民族問題 ・経済格差の是正と国際協力 ・国際社会における日本の立場と役割		○	○		ｂ：生徒に課題を選ばせて、同じテーマを選んだ生徒どうしで調べ学習を実施しレポートを作成したり発表したりできたか。 ｃ：レポート作成に当たり、様々な資料を活用できたか。	レポート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。